

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 山田繁伸

授業の概要			
1 年次に引き続いて、高等学校用の 4 単位用の検定教科書を使用する。国語を的確に理解し、適切に表現できる力を身につけることを目指す。現代文では、複雑な社会の中におけるコミュニケーションのための、伝え合う力を身につけることを、古文漢文では、先人の優れた文章・詩歌から、今につながる価値観や感性を読みとることを目指す。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (C1)	
(1) 現代文 (随想・短歌・俳句・小説・評論) に親しみ、読解や鑑賞の基礎を身につける。(定期試験と提出課題)			
(2) 古文・漢文の読解の基礎力を身につける。(定期試験と提出課題)			
(3) 文章の内容や部分的な個所の間に対して的確に文章にまとめる表現力を身につける。(定期試験と提出課題)			
(4) 同訓異字・同音異義語、四字熟語、難読語、慣用句などの基礎的な国語力を身につける。(定期試験と提出課題)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	小説「城の崎にて」1 小説「城の崎にて」2 小説「沖縄の手記から」1 小説「沖縄の手記から」2 和歌「万葉集」 和歌「古今和歌集」 和歌「新古今和歌集」	○小説に描かれた出来事や登場人物の心情などを、表現に即して読み取る。 ○生と死や極限状態における人間の姿について書かれた小説を読み、考えを深める。 ○和歌の韻律や技巧について知り、表現の特色を学ぶ。	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 評論「ものと記号」 評論「広告の形而上学」 評論「生物の多様性とは何か」 漢詩・自然「春暁」「江雪」 漢詩・友情「送元二使安西」 漢詩・人生「竹里館」「涼州詞」	○文章の構成や展開に注意して評論を読み、筆者の意図を捉える。 ○記号や広告、生物多様性について論じた評論を読み、それぞれの問題について考えを深める。 ○漢詩のきまりと表現の特色について学び、漢詩の世界に親しむ。	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	詩歌「鶯のうへ」 詩歌「汚れつちまつた悲しみに……」 詩歌・短歌抄 詩歌・俳句抄 紀行「土佐日記」 紀行「奥の細道」1 紀行「奥の細道」2	○詩、短歌、俳句について、それぞれの形式やリズム、表現方法に注意して読む。 ○詩歌に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わう。 ○紀行文としての表現の特色や、描かれている「旅」の意味について考える。	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24 25 26 27 28 29	後期中間試験の解答と解説 評論「手を見つめる」 評論「テルミヌスの変身」 小説「富嶽百景」 漢文「論語」1 漢文「論語」2 漢文「孟子」	○身体や情報化社会についての問題点を論じた文章を読み、自分の考えを深める。 ○登場人物の心情の変化や描かれている人物像に留意して、小説を読み味わう。 ○古代中国の思想について理解を深め、ものの見方、考え方を豊かにする。	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	課題プリント等の提出物は指示に従い、必ず提出すること。		【総合達成度】
教科書	三角洋一他、「精選国語総合」、東京書籍		
参考図書	「ビジュアルカラー国語便覧」、大修館書店		
自学上の注意	授業で配布したプリントは、ファイルに綴じておくこと。		
関連科目	現代文、地域日本文学、日本語表現法		
総合評価	達成目標の (1) ~ (4) について、4 回の定期試験と課題で評価する。 総合評価 = $0.8 \times$ (4 回の定期試験の平均点) + 0.2 (課題点)。 総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は、総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。		